

諏訪湖周自転車活用推進計画の概要

第1章 はじめに

第2章 計画の目的と位置付け

目的：平成28年8月策定の「諏訪湖周サイクリングロード基本計画」で示した「諏訪に住み、働き、集うすべての人々が、多様な目的に身近な交通手段として、自転車を安全で快適に利用できる諏訪湖まわり」や、平成30年3月策定の「諏訪湖創生ビジョン」で示された「サイクリングロードを利用する人も増え、自転車を楽しむ愛好者の拠点として機能している」といった将来像の実現

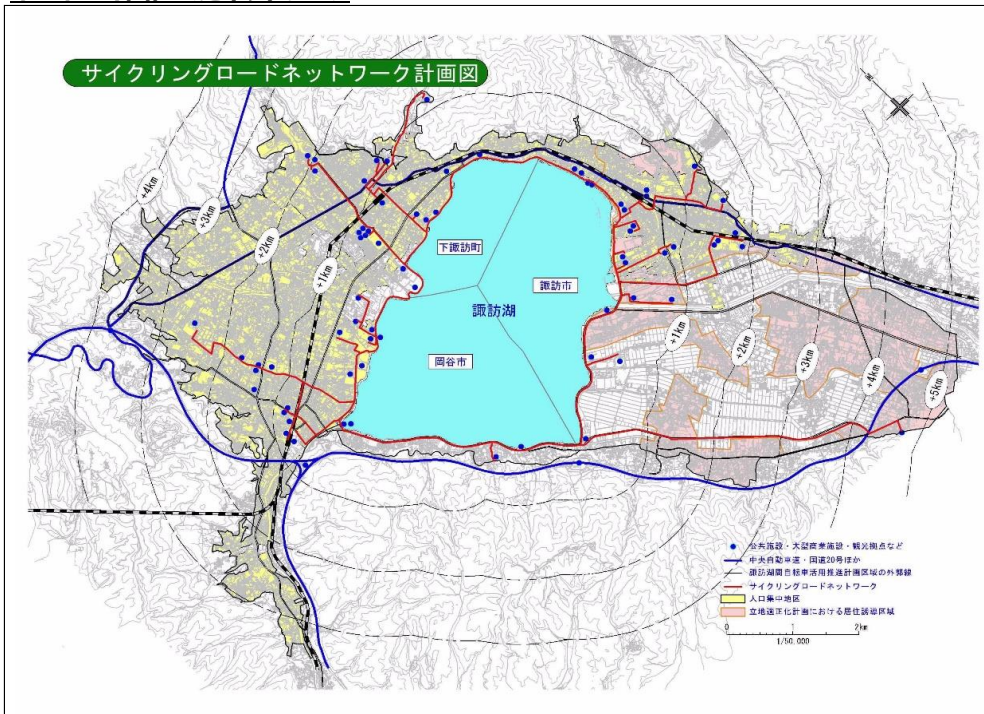
位置付け：(1)既存計画との関連 (2)その他の関連計画

第3章 自転車利用に関する現状と課題

現状：「都市構造がクルマに依存している」「駐輪スペースがない。または、収容可能台数が少ない」「自転車走行が危険である。自転車通行空間の整備が不十分である」「地域特性と観光資源が活かされていない」

課題：あたらしいまちづくりにおける自転車の役割

第4章 計画区域とネットワーク



第6章 諏訪湖周の自転車活用の推進に関し講ずべき措置

施策を着実に実施するため、計画期間中に講ずべき措置を一覧表に整理

第7章 実施スケジュールと計画の推進体制

実施スケジュール：中長期的な展望を視野に入れつつ、2019年から5年とする

推進体制：住民をはじめ関係団体や事業者等と協力し目指すべき将来像の実現に向けて計画を推進

第8章 計画のフォローアップ

(1)施策のチェックアップ (2)計画の見直しについての考え方 (3)指標と評価方法

第5章 諏訪湖周の自転車活用の推進に関する目標及び実施すべき施策

目標1「交通環境」：誰もが無理なく快適に利用できる諏訪湖周のサイクリング環境の創出

【指標】 諏訪湖周サイクリングロード整備率 【現状】2018年：5%⇒【目標】2023年：98%

1. 自転車通行空間の計画的な整備
2. 楽しく快適にサイクリングできる環境の整備
3. まちづくりと連携した総合的な取り組み

目標2「健康・スポーツ・環境」：諏訪湖の自然や湖畔からの眺望を楽しみながら、誰もが気軽に健康増進を図れるサイクリング環境の整備

【指標】 通勤・通学における交通分担率 【現状】2018年：7.6%⇒【目標】2023年：10%

4. 自転車を活用した健康づくりの促進
5. サイクルスポーツの振興
6. 自転車を活用した環境保全

目標3「観光振興」：諏訪湖周に立ち並ぶ美術館や公園などの施設と連携したサイクリング環境の整備

【指標】 延宿泊者数 【現状】2017年：125万人⇒【目標】2023年：152万人

7. 湖周の豊富な観光資源との連携によるサイクルツーリズムの推進
8. 諏訪湖を訪れた観光者が楽しめるサイクリング環境の創出

目標4「安全・安心」：自転車事故のない安全で安心な諏訪湖周のサイクリング環境の整備

【指標】 諏訪湖周における自転車乗車中の死傷者数 【現状】2017年：58人⇒【目標】2023年：減少

9. 自転車の安全利用の促進
10. 学校における交通安全教育の推進
11. 自転車通行空間の計画的な整備（再掲）
12. 災害時における自転車活用の推進